



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.122

岩室村の人口

(5月1日現在)

男	4,251人	(△9)
女	4,831人	(△5)
計	9,082人	(△14)
世帯数	2,057世帯	(+4)

(住民基本台帳による)



モニター員委嘱

村政に正しい批判、忠告、勧告

横山村長は首長に当選以來「村民の生の声」を村政に反映し、数ヶ年を亘って全部落を巡回し、村民との対話がくり返され、ぼう大な資料が村民の皆さんから提供されてきました。

それらが細く分析され、検討され村政に反映されてきた。又住民相談室も設置され、村民の生活相談や行政に対する苦情相談にも、広く相談活動を通じて、住民とのパイプがしっかりとつながられ、これらの苦情、意見等、検討され対話による村づくりを進めてきました。

村長はさらに対話行政から一歩進め参加行政による村づくり計画を発表した。これは村政モニター制度で村政について、村民のすぐれた意見や正しい批判忠告、勧告を受けて村政のうえに反映させることにより、村行政施策のよりよい向上を図ろうとするもの、村政モニター員は、現在あらゆる役職についておらず、一村民の自由な立場の人に委嘱されています。各々の生

活地域ブロックの代表や婦人会、PTA等各種団体の名が委嘱されました。今後これらのモニター員によって「村政に対する忠告、勧告」が行なわれることとなる。

最近の大都市周辺の急増過密型都市の人口構成からみて、好むと好まざるにかかわらず住民意識を綿密に把握し分析して施策の先取りに取組まない限り、やがてどうにもならない時期がくるであろう。自治体が参加行政を指向する中で住民自身の動向が大きく変化しつつある現在、積極的にモニター員から意見を聞くこととする姿は、県内の村規模の自治体において、始めての試みであるだけにその実施は大きく注目されている。

対話行政から参加行政へ

命令行政から親切行政へ
対話行政へ参加行政へ移行する中で、モニター員による村づくりは委嘱される人の活躍と村民の絶大な協力が必要となってきました。

今後モニター員によって住民が求めている要求が分

析されて、これがタイミングよく村政に反応されることだろう。

委嘱されたモニター員は次のとおりです。

◎浅田 栄勝(金池)
渡辺信太郎(石瀬)
岡崎 信雄(岩室)

石川 一郎(種會)
山田 勝美(西中)
大沢 増男(油島)
驚沢 孝(津雲田)
鈴木 唯克(津雲田)
坂下 恵一(和3)
芹沢 一郎(高橋)
田中 保栄(和8)

本年も次の要領により招魂祭式典を挙行いたします。後日、遺族、来賓の方々に御案内を差しあげますので是非御参拝下さい。

日時 6月17日(土曜)
午前11時

招魂祭式典について

会場 岩室中学校体育館
日程 招魂祭式典 11時~11時40分
祝宴 正午より
演芸 (岩室村民謡連盟) 90分
閉宴 午後2時

テレビ「ロケ隊」岩室・間瀬で撮影

人気番組「特別機動捜査隊」の撮影が、五月二十八日、岩室温泉街および間瀬海岸でおこなわれました。

ロケ隊一行五十名は、二十七日に岩室に到着。湯元館、シンユ館に宿泊し、翌二十八日に在所、温泉街、寺泊、鳥屋野ボーリング場旅館などの各所で撮影し、などが出ます。

題名は「芸者雪子の場合」といい、画面は岩室、間瀬のほかに、彌彦神社、寺泊、鳥屋野ボーリング場などが出ます。

放映は、来たる七月五日(第一回放送)八月九日(第二回放送)のいずれも夜十時からの予定。

6月外科救急当番			
6月4日	吉田町	吉田病院	TEL 3-3131
6月11日	巻町	巻病院	2-3111
6月18日	吉田町	吉田病院	3-3131
6月25日	巻町	巻病院	2-3111

岩室分署

伊藤 礼行(和4)
木村 要(間2)
鉦 栄太郎(間4)
高山 光子(間7)
竹内 桜栄(交通安全協会)
大岩 清一(岩室村勤労者親和会)
新川 卓栄(青年団)
梅沢 長(婦人会)
藤田 一郎(PTA)
菅井秀千代(遺族会)
難波 キミ(母子福祉協議会)